

# 生活保護基準下げ前代未聞

## 不服「審査請求」参加次つぎ

### 北海道「ピラ」見て対話、申し込み

生活保護制度発足以来、前代未聞の保護基準引き下げ（3年で平均6・5%、最大1割）が8月から強行されたことに對し、不服申し立ての「審査請求」運動が全国1万人を目標に進められていきます。1000人を目指している北海道では、生活と健康を守る会などによる街頭での宣伝に大きな反響が寄せられ、運動への力になっています。

引き下げ後、道内で最初の支給日となった15日。札幌市内12カ所と小樽市、岩見沢市で引き下げ撤回を求める署名や、審査請求への参加、支援を呼びかける街頭宣伝が行われました。

札幌市北区のスーパ1前。多くの人がピラを受け取り、次々と声をかけてきました。80歳近い女性は、「さっ



5年近く職を得られなかったという母親(40)は、9歳の子と2人暮らし。4千円の減額といます。「食事も今まで以上に節約して3品を2品にするしかない。夏休みだが子どもを遊びに連れていくこともできない」と訴え、「どうして苦しい人からお金を持っているのか、消費税も上がるし...」と怒りで涙ぐみ、体を震わせました。署名や審査請求への参加を呼びかける守る会の人たち（左から2人目が佐藤会長）。11日、小樽市内

「これからどれくらい保護費が下げられるのか」「食料品が値上がりしていて、切り詰めに生活保護基準の引き下げが強行され、生活保護受給者から不安の声がわきあがっています。」

大阪府枚方、交野両市の枚方交野生活と健康を守る会は、生活保護費支給日の5日、枚方市の支給会場前で生活保護引き下げに抗議し、減額を取り消すよ

「生活基準の引き下げをやめさせよう。そのために審査請求に参加を」の横断幕を掲げ、「引き下げを許さない」という怒りを込め、みんなで声をあげ、審査請求に参加しました。

「生活と健康を守る会連合会の三浦誠一会長は、「街頭で、審査請求の申し込みがあるなんて全く予想外でした。もっと多くの人に知らせたい。9月17、20日の知事への集団請求に向け、運動の前途はすばらしいものがある」と話します。

「ピラを見て話を聞きにくる。署名をして」

「審査請求への参加をよびかけました。」

「生活と健康を守る会連合会の三浦誠一会長は、「街頭で、審査請求の申し込みがあるなんて全く予想外でした。もっと多くの人に知らせたい。9月17、20日の知事への集団請求に向け、運動の前途はすばらしいものがある」と話します。

この行動を通して11人が審査請求への参加を申し込みました。「ここまで大きな反響があるとは思っていません」と稲見真佐子北区生活と健康を守る会事務局長。「お金を受け取って初めて減ったとわかった人が多かったのではないかといいいます。」

2日が支給日だった小樽市。周りに銀行が多いスーパー前で生活と健康を守る会の22人が宣伝しました。近年になく多くの人がピラを受け取りました。「干なんぼ引かれ

た。今まで以上に親せきつきあひもできなくなる。早く死んだ方がいいのか」と問いかけてくる高齢の女性。「伸び盛りの子に靴も買ってあげられなくなると訴える母親...」

今回だけの引き下げと思っている人が多く、来年も再来年も下げられると聞いて、「食べていけない。こんなやり方はない！」と、怒りの声が上がりました。40分ほどの間に6人が審査請求への参加を申し込みました。

「ピラを見て話を聞きにくる。署名をして」

「審査請求への参加をよびかけました。」

「生活と健康を守る会連合会の三浦誠一会長は、「街頭で、審査請求の申し込みがあるなんて全く予想外でした。もっと多くの人に知らせたい。9月17、20日の知事への集団請求に向け、運動の前途はすばらしいものがある」と話します。

## 請求参加を呼びかけ

大阪・枚方交野生健会が宣伝

「これからどれくらい保護費が下げられるのか」「食料品が値上がりしていて、切り詰めに生活保護基準の引き下げが強行され、生活保護受給者から不安の声がわきあがっています。」

大阪府枚方、交野両市の枚方交野生活と健康を守る会は、生活保護費支給日の5日、枚方市の支給会場前で生活保護引き下げに抗議し、減額を取り消すよ

「生活と健康を守る会連合会の三浦誠一会長は、「街頭で、審査請求の申し込みがあるなんて全く予想外でした。もっと多くの人に知らせたい。9月17、20日の知事への集団請求に向け、運動の前途はすばらしいものがある」と話します。